

# 岩手県議会議員が つなぐ 皿回しの輪

議員さんたちも  
子どもにもどって  
口をポカーンとあけて  
遊びました。



## 学べ 富山の育児支援

岩手県議会の人口減少、少子化対策調査特別委員会は二十九日、富山市内を訪れ、遊びを通じて子育て支援に取り組むNPO法人「富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊」（富山市奥羽町）の活動を視察した。

岩手県議会は、全国的に進む人口減少、少子化に対応するための施策や地域づくりのため、同委員会を二〇一三年十月に設置。今回の視察は富山、石川両県や民間で行われている取り組みを調査するため、委員十一人が二十八日から訪れている。

この日は、遊ばせ隊の早川隆志理事長（左）が、皿回

### 岩手県議会 NPO遊ばせ隊を視察

しやけん玉などの昔ながらの遊びを披露。大人たちがこころした遊びの楽しさを子どもたちに伝えることで親子関係がより深まると指摘し、「大人がはかになって一緒に遊ぶことは、子どもたちに『この人になら心を打ち明けよう』と思える力を持つている」と訴えた。

委員らは皿回しに挑戦して「なかなか回らん」などと遊びを楽しんだ。同委員会の軽石義則委員長は「子どもが伸び伸びと育つための環境というものを思い出させてくれた」と話し、本年度中にまとめる最終報告に反映させる意欲をみせた。

同委員会は三十日に富山の少子化対策を調査した後、岩手県に戻る予定。（広田和也）

（北陸中日新聞 平成27年1月30日）

北上市常盤台の北上学童保育所つくしクラブで27日、富山市のNPO法人「富山・イタズラ村・子ども遊ばせ隊」によるふれあい遊び事業が開かれた。同クラブを利用する黒沢尻北小学校の児童



早川さん（左）の指導で皿回しを成功させるつくしクラブの利用児童

が、皿回しなど素朴だがこころが必要なおもちゃに触れ、ゲームでは味わえない「遊び心」を育んだ。

同法人（早川隆志理事長）は、遊びを通じて子供たちの触れ合いや創意工夫、集力を引き出すと、講演やワークショップ、特別授業などを全

国で展開している。同日は早川理事長が同クラブを訪ね、1、6年生約60人を遊びに誘った。

取り組んだのは拳玉と皿回し、「ぶんぶんごま」。このうち皿回しは、回転させやすいよう皿の中央がへこみ、縁に棒を引っ掛ける溝もあるが、実際に回すには練習が必要。

要。子供たちは早川さんの指導で夢中になって挑戦し、回せるようになるまでとテクニックを教え合うなどして楽しんでいった。

菊地心君（4年）は「光って回るぶんぶんごまが楽しい。ゲームよりも面白い」と話していた。

早川理事長によると、子供同士の触れ合いを促

し集中力を生み出すには、今回題材にしたように少しづつが必要で遊びが最適という。ゲームばかりの遊びやネット依存が全国で問題になっている中、学童保育も子供を預け宿題をするだけでなく、子供の縦つながらの構築や成長につながる場になるのが理想的だと願っていた。

久保孝喜議員さん（社民党）が橋渡しをして下さいました。

また、8月22日～23日には、岩手県内の学童保育の指導者さんたちの研修会にも招いていただけることになりました。

久保議員さん、学童保育の方々、有難うございます!!



ゲームより面白い  
富山・NPO法人  
皿回しや拳玉遊び体験